



日本の教育レールに乗ることの危険性

衝撃の現実： 日本の生活水準 40年逆戻り

- ・日本の実質賃金はここ30年で約10~11%低下
- ・GDP成長は停滞し、生活水準は2030年代に「1980年代前半レベル」へ逆戻り
- ・この事実はOECDデータや各種経済統計が裏付け

日本の実質賃金推移（1990-2024）



※1990年を100とした場合の指数

日本と主要国のGDP成長率比較



※1990年を1とした場合の成長比率

進歩どころか「退化」する日本社会の姿を直視しよう

生活イメージの劇的変化：ハワイが再び夢の旅行先

1980年代

ハワイ旅行：憧れの海外旅行、特別な出来事

生活感覚：これから豊かになるという期待感

海外旅行頻度：人生で1度あれば特別

経済状況：成長の真っ只中

2030年代予測

ハワイ旅行：円安で再び「高嶺の花」に

生活感覚：豊かさを失うという喪失感

海外旅行頻度：年1回でも困難に

経済状況：長期停滞、実質賃金低下

ホノルル物価：東京との比較



※東京を100とした場合の物価指数

年代別：ハワイ旅行の費用感



※平均月収に占める1週間のハワイ旅行費用の割合(%)

未来の日本：

"便利なモノはあるのに自由に楽しめない"生活感覚が強まる。

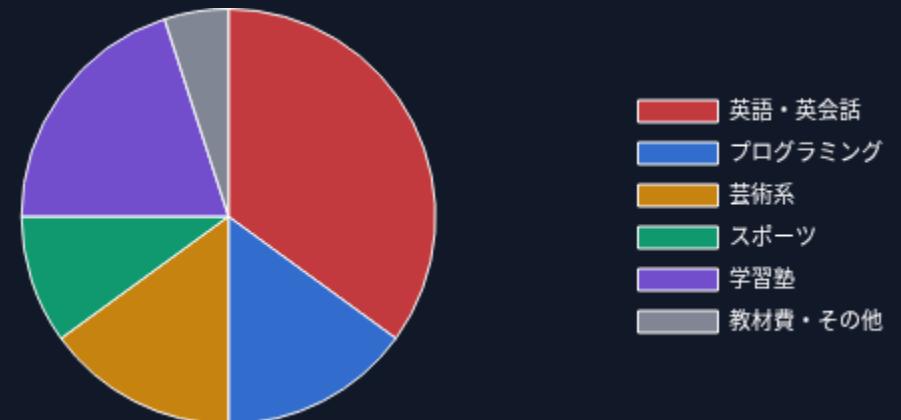
教育投資の構造変化：必須4本柱で年間100万円時代

2030年代「必須4本柱」とコスト

- ①英語（英会話・塾）：1.5～3万円／月
- ②プログラミング・STEM：1～2万円／月
- ③芸術（音楽・美術・ダンス）：1～2.5万円／月
- ④スポーツ：1～2万円／月

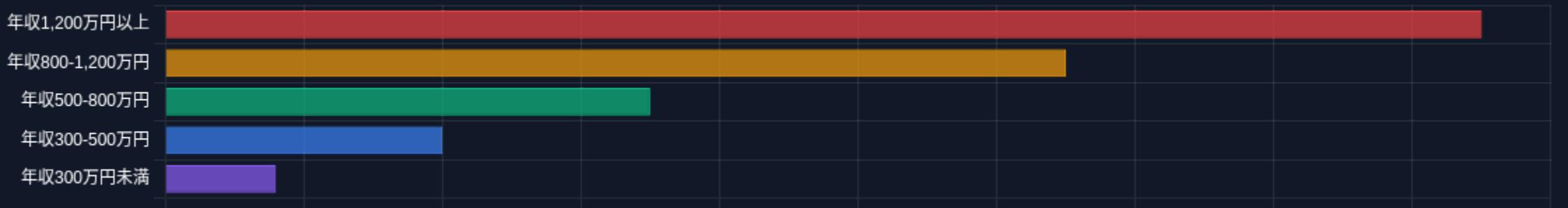
フルパッケージ総額：月4.5～9.5万円
年間換算：54～114万円

平均的家族の教育投資配分（2025年）



※平均的な中間層家庭の習い事・教育支出の実態

世帯年収別 年間教育投資額（2025年）



※幼少期（0-12歳）の習い事・学校外教育費の実態

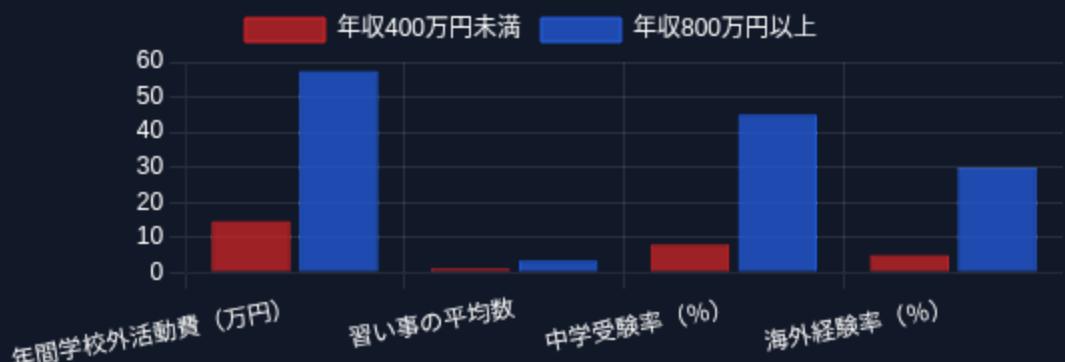
教育格差は拡大する

「投資できる家庭」と「できない家庭」で子どもの将来が二極化

平均家庭は「英語+1科目」が限界、下位層は習い事ゼロの現実

年齢別教育格差の拡大：幼少期から決まる人生の軌道

年収別・学校外活動費の格差



※年収400万円未満 vs 年収800万円以上 (公立小学生対象)

年齢別・教育格差の拡大



※上位層と下位層の教育投資格差は年齢とともに拡大

幼少期から分岐する人生の軌道

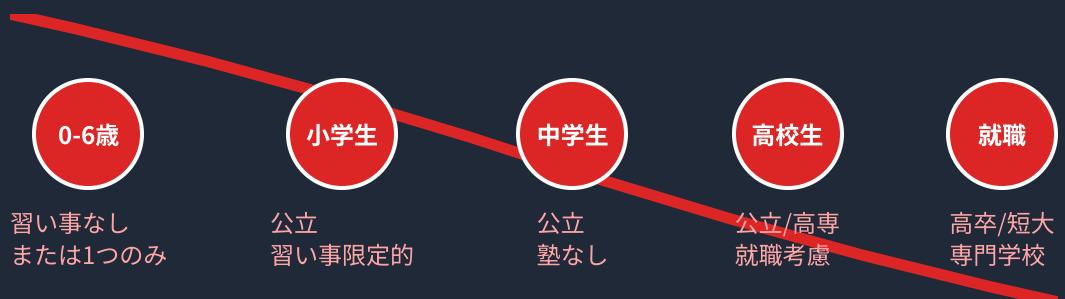
上位層（年収800万円以上）



将来像

- 海外大・難関大 → グローバル企業
- 高収入・専門職への道
- 親からの教育資金援助あり

下位層（年収400万円未満）



将来像

- 高卒・短大・専門学校 → 地元就職
- 非正規雇用率が高い
- 奨学金返済負担が重い

教育投資格差と人生の分岐点：

6歳までの教育投資格差が将来の人生軌道を決定づける。早期に「人生のレール」が分岐する現実。

教育投資額で決まる子どもの未来：累積格差の恐ろしい現実

22歳までの累積教育投資額の格差

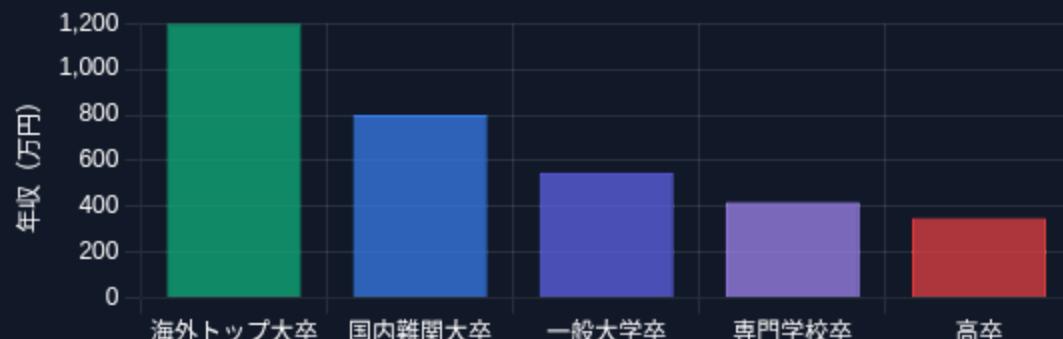


階層別累積教育投資額（22歳時点）

- 上位層: 3,700万円
- 中間層: 1,000万円
- 下位層: 300万円

格差倍率: **12.3倍**

教育投資が決める将来の年収格差



幼少期の格差が将来を決定

0-6歳での投資差（年60万vs5万）がその後の学習機会・進学先を左右

グローバル人材への道は狭窄

上位層でも海外大学進学は厳しく（年600-900万円）、さらに格差拡大

格差は世代間で拡大再生産

キャリアによる年収差が次世代の教育投資差へと連鎖していく

恐ろしい現実：

"子どもの将来は親の財布によって決まる"という格差社会がすでに現実化している。

日本のグローバル競争力の限界：GAFAM就職率0.2%の絶望

日本人のグローバル就職率



GAFAM就職率

アメリカ人含む全応募者の平均



アメリカ就職実現率

海外留学生の中での日本人の割合



外資コンサル新卒採用数

マッキンゼー等主要戦略コンサル各社

グローバル人材輩出力の国際比較



日本の教育システムによるスキルギャップ

語学力

TOEIC平均520点
(ビジネス必要730点以下)

プログラミング

小中高での本格教育なし
中国・インドの1/10以下

異文化経験

海外留学率3%
(米中韓の1/5~1/10)

起業家精神

起業希望率20%以下
(米中の1/3~1/2)

警告：

"国内教育レールだけではグローバル市場での生き残りが不可能な時代に突入している。"

危険な現実：日本の教育レールでは通用しない世界

「国内有名大学→一流企業」の神話崩壊

過去：日本国内の有名大学からメガバンク・総合商社への就職が成功の証

現在：国内企業の競争力低下・グローバル競争激化で優位性喪失

未来：年功序列・終身雇用の終焉で従来型キャリアパスが消滅

警告：

東大・京大でさえ世界ランキングで50-100位圏外。日本国内だけで通用する経験では将来性に限界あり

世界標準の必須教育要素

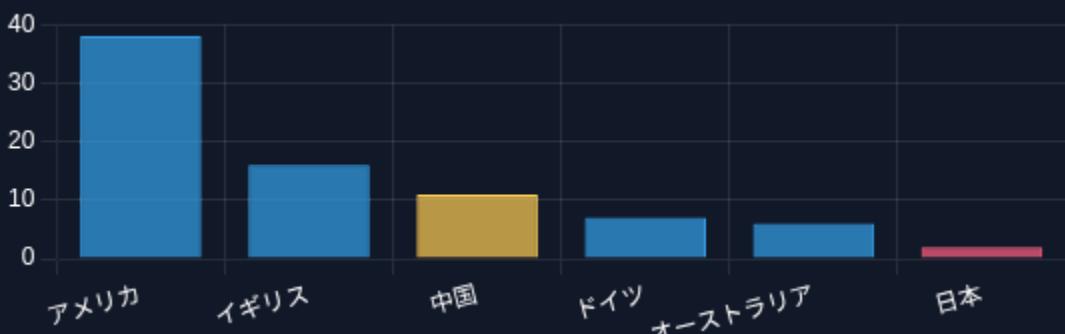
早期英語イマージョン：多言語環境での本格的な語学習得

STEM教育：科学・技術・工学・数学の実践的スキル

批判的思考力：暗記ではなく問題解決・創造力重視

多文化適応力：異文化環境での協働・リーダーシップ

主要国 の世界大学ランキングTOP100校数



※2024年Times Higher Education世界大学ランキング

グローバル人材に求められるスキル習得度



※世界平均を100とした指標（OECD調査データより）

このまま「国内レール」に依存すれば、子どもたちの将来は：

① グローバル競争での敗北

② 海外キャリア選択肢の喪失

③ 所得・機会格差の拡大

唯一の解決策：海外レールへの切り替え

今すぐ実行すべきこと

- ✓ 幼少期からの投資：語学・STEM・国際経験に重点投資
- ✓ 国内レール依存の脱却：「日本の有名大学→国内大手企業」の幻想から脱却
- ✓ 英語圏教育への接続：海外大学進学、海外就労を視野に入れた教育選択

獲得できる未来

- ↑ **国際競争力**：世界トップ企業・組織での活躍機会
- ↑ **収入潜在力**：日本国内の2倍～10倍の収入可能性
- ↑ **選択の自由**：国や組織に縛られないキャリア設計

具体的アクションプラン

幼少期（0-12歳）

英語環境・海外経験・STEMへの早期接続

中高生（13-18歳）

海外大学進学準備・英語力強化・海外インターン

大学～キャリア

海外大学・海外就労コースの積極選択

今ここで「**教育レール**」を変えなければ、
日本の将来はない！